

京都アニメーション × 「紫式部ゆかりのまち宇治」  
キービジュアル記者発表

開催日：令和5年10月31日（火）  
10時00分から

場 所：源氏物語ミュージアム 講座室

※ キービジュアルのデザインに関する資料は、  
会見内に行う除幕式の直前でお渡しします。

令和5年10月31日  
宇治市産業観光部

## 紫式部ゆかりのまち宇治に「大河ドラマ展」

～紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト～

お茶と宇治のまち歴史公園において、令和6年大河ドラマ「光る君へ」(NHK)の放送に合わせて、「大河ドラマ展」をオープンします。大河ドラマの世界観を楽しんでいただくとともに、宇治の史実に関する展示を行い、平安時代の宇治の歴史・文化の魅力を発信します。

## 光る君へ 宇治 大河ドラマ展 ～ 都のたつみ 道長が築いたまち ～

期間等：令和6年3月11日(月) OPEN!!

～ 令和7年1月13日(月・祝)

(午前9時から午後5時まで)

場 所：お茶と宇治のまち歴史公園 交流館「茶づな」

主 催：宇治市

入館料：大人 500円

令和5年12月から前売り(400円)発売開始予定

※詳細は後日発表



### 【参考】

※「都のたつみ」

百人一首八番 喜撰法師

わが庵(いほ)は 都のたつみ しかぞすむ

世をうち山と 人はいふなり

【本リリースに関するお問い合わせ先】

宇治市産業観光部 観光振興課 担当：課長 木田 電話：0774-39-9408

## 市民と創る 紫式部ゆかりのアート展

～紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト～

令和 6 年から開催する「大河ドラマ展」にあわせて、展示スペースを貸し出し、「紫式部」や「源氏物語」をテーマにした絵画、写真、手工芸品等のアート作品を通じて、市民の皆さんと一緒に多様な角度から宇治の魅力を発信します。

場 所：「大河ドラマ展」 出入口付近

### 開催期間と展示

：「大河ドラマ展」期間中（令和 6 年 3 月 11 日（月）～令和 7 年 1 月 13 日（月・祝））に、期間を区切り展示スペース（おおよそ幅 450 cm × 奥行 30 cm）を貸出

3 月～4 月頃  
宇治アートプロジェクト  
“わたしの宇治十帖” 作品展示

5 月 GW 頃～  
市民作品展示  
（1 団体当たり 3 週間）

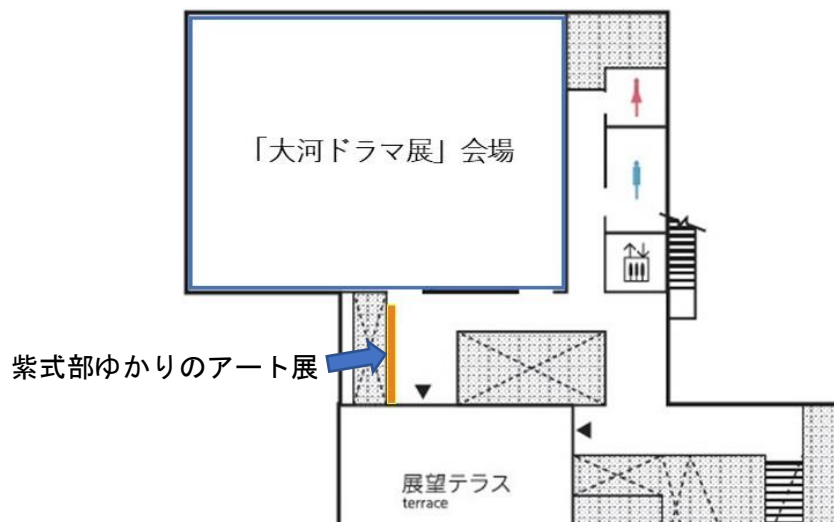
皆さんから募集

募 集：「紫式部」や「源氏物語」をテーマにした絵画、写真、書道、手工芸品等の作品

〈参加申込期間〉12 月 1 日（金）～28 日（木）

〈対 象〉市内在住、在勤、在学の団体もしくは個人

※詳細は後日発表



【お茶と宇治のまち歴史公園 交流館「茶づな」 2 階】

【本リリースに関するお問い合わせ先】

宇治市産業観光部 文化スポーツ課 担当：課長 岡部 電話：0774-20-8724

令和5年10月31日  
宇治市産業観光部

## 京都アニメーション × 「紫式部ゆかりのまち宇治」 キービジュアルが完成

～紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクト～

宇治の歴史・文化・観光の魅力を多くの人に発信するため、宇治の特長や多層的な魅力を表現したプロジェクトを象徴するキービジュアル、ロゴマークを京都アニメーションに作成いただきました。

紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトとして、宇治を挙げてのPRに活用します。

### キービジュアル、ロゴマーク作成の経緯

「紫式部ゆかりのまち」としての魅力を市民や観光客に伝える一つの方法として、キービジュアルやロゴ、キャッチコピーを作成したいと考え、今年の春頃に京都アニメーションに依頼したところ、地域貢献のひとつとしてご協力いただけることとなりました。

### 京都アニメーションからのコメント 別紙

#### 今後の活用

##### キービジュアル

- ・市ホームページやポスター、PR用品などで活用

##### ロゴマーク

- ・市ホームページ、ポスター、のぼり、ノベルティグッズなどのPR用品などで活用
- ・観光関係者、地元商店街、寺社などで構成される「紫式部ゆかりのまち宇治推進プラットフォーム会議」をはじめとする、様々な取組の中で活用

【本リリースに関するお問い合わせ先】

宇治市産業観光部 観光振興課 担当：課長 木田 電話：0774-39-9408

## 紫式部ゆかりのまち宇治魅力発信プロジェクトに向けて コメント

今年の春頃に宇治市様より、プロジェクトのお話を頂戴いたしました。

平安時代からの歴史文化薫る宇治の魅力を、幅広い世代に届けたいという思いをうかがい、2024年に向けてとても力を入れられている、そんな意気込みを感じました。打ち合わせを重ねるごとに職員の方より、印象的なエピソードからそれまで深く知る機会のなかった宇治の歴史まで、さまざまなことを教えていただき、弊社からもその内容を受けて現地で取材を行い、今回のビジュアルを制作することが叶いました。

弊社が宇治市に拠点を構えていることに加え、「響け！ユーフォニアム」とのコラボ等、日頃からお世話になっておりますので、弊社といたしましても、宇治の魅力発信の一助となれるのであれば非常にありがたい機会と受け止めております。

このイラストやロゴを通じてそこに込められた思いが、たくさんの方に届くことを願っております。

2023年10月吉日  
株式会社京都アニメーション



【担当ディレクターのコメント（京都アニメーション）】

時間が流れてもかわらない上流の景色を見せつつ、宇治橋を行き来する色々な時代の人物を描いています。  
頂いた資料を見た時、今も現代に根付いている歴史の物語を感じました。

宇治にゆかりの深い菟と鳳凰をキャラクター化。

宇治橋に「過去の空」と紙吹雪による「時代の彩（いろどり）」を反映させています。宇治市に遊びに来た観光客の方々が宇治の物語の中に入り込んで歩くイメージを描いています。



【コンセプト】

宇治はかつて菟道と書いて“うじ”と読んでいたといわれており、ウサギはこの地域と縁が深い動物です。

また、宇治川とそこに架かる宇治橋は、まちの長い歴史を象徴する場所で、古くから交通の要衝として栄えた宇治を表現しています。

市の木であるイロハモミジが舞い、十二単に代表される平安時代の華やかで豊かな色彩を表しています。

うじには物語がある

【コンセプト】

源氏物語の舞台でもある宇治は、様々な時代の要素が重層的に積み重なって形作られ、過去から未来への物語が流れるまちです。

先人たちが見た景色が今も残る宇治川の流れを見ながら、歴史や文化を感じ、宇治の物語に思いを馳せていただけるのではと考えています。

キャッチコピーのデザインには宇治橋のモチーフを取り入れています。



【コンセプト】

紫式部が記した源氏物語は全54帖の長編からなり、最後の十帖は「宇治十帖」と呼ばれています。

十二単の豊かな色彩を表現しています。